

第6回ラグビーワールドカップ2019大阪・花園開催推進委員会  
議事概要

1. 日 時 平成31年3月20日(水) 午前10時30分～午前11時35分

2. 場 所 シティプラザ大阪 4階「眺」(CHO)  
(大阪府大阪市中央区本町橋2-31)

3. 出席者 委員総数 18名  
【出席委員 13名(代理出席含む)】  
大阪府副知事 新井 純  
東大阪市長 野田 義和  
公益財団法人 大阪観光局 常務理事 市政 誠  
公益財団法人 大阪体育協会 事務局長 梶川 哲郎  
大阪府障がい者スポーツ協会 事務局長 宮村 誠一  
大阪府ラグビーフットボール協会 副会長 花折 昌治  
関西エアポート株式会社 渉外チーム次長 小林 光夫  
公益社団法人 関西経済連合会 理事 神田 彰  
関西ラグビーフットボール協会 会長 坂田 好弘  
近鉄グループホールディングス株式会社 取締役専務執行役員 倉橋 孝壽  
国土交通省 近畿運輸局 計画調整官 柴谷 淳一  
国土交通省 近畿地方整備局 広域計画課長 隅田 道男  
西日本旅客鉄道株式会社 執行役員近畿統括本部大阪支社長 川井 正

4. 開会及び開催都市挨拶

定刻に、ラグビーワールドカップ2019大阪・花園開催推進委員会事務局が司会を務め、委員長の大阪府松井知事に代わり、新井副知事が出席し、委員長を務めた。

5. 決議事項

会議に先立ち、代理出席を含め定数18名のうち13名の委員に出席いただき、規約第9条第3項の定足数を満たしていることから、会議が有効に成立したことを確認する。

<議事概要>

○議案1及び2を一括で審議した。

事務局より、事情実施状況の報告として、広報活動による機運醸成や開催都市プロモーションの実施状況、円滑な大会開催に向けた計画策定業務の進捗状況の説明、委員会、幹事会、各部会の活動報告を行うと共に、次年度への予算額の繰り越しを含む、決算見込みについて説明を行った。

議案1及び2について、表決をとったところ全員異議なく承認された。

○議案3及び4を一括で審議した。

事務局より、来年度の事業計画（案）として、大会機運の醸成活動（大会開催前プロモーション、大会開催時プロモーション）の内容、大会運営活動として、交通輸送、警備業務の実施、大会用仮設施設等設置にかかる取組み状況、大会ボランティアの運営等について説明を行うとともに、これに伴う**2019**年度の予算額（案）について説明を行った。

○ご意見、ご質問

（委員）

- ・仮設設備について、ラグビーワールドカップ終了後は、撤去するのか。

（事務局）

- ・仮設スタンドについて、一部南側スタンドから張り出す形で5段仮設整備するが、それらについて、レガシーとして別で残す形を検討している。その他の仮設については、原則として撤去する。

（委員）

- ・できるだけ残していただけたら、レガシーとして良いと思う。それ以外でレガシーとして考えておられることはあるのか。

**2019**年大会終了後には、ラグビーをしたいと思う子どもが増えることが予想される。場所の確保などはどうか。

**2015**年の際も、同様の現象が起きた。**2011**年も世界中で子どもたちのラグビーへの興味が高まったが、それを受け入れる環境があるかないかで、ラグビー人口が増えるかどうかにつながる。日本においては、場所が少なく、**2015**年度はラグビースクールに申し込んでも、対応できる場所が少ないということで、断られることもあった。

（事務局）

- ・我々としても、ラグビーを一過性のスポーツイベントとして終わるのではなく、東大阪市も参加する**2021**年のワールドマスターズゲームズ、来年のオリンピック・パラリンピックに、つなげていきたい。3大スポーツイヤーの最初の年として、ラグビーの裾野を広げ、また生涯スポーツへの振興につながるような、レガシーの取り組みは重要だと認識している。推進委員会の部会として、レガシー部会も設置しており、ご意見を踏まえて、関係者とうとういった事に取り組んでいけるか、検討していきたい。

（委員長）

- ・推進委員会だけでできるかどうかと言うこともあることから、関係機関とも連携をしっかりとって進めてほしい。

ハード、ソフトの両方、ラグビー機運をどう高めていくのか、しっかり検討してほしい。

(委員)

- ・同友会も委員会を立ち上げて、ゴールデンイヤーズに向けて取り組んでいる。  
関西経済連合会や商工会議所とも一緒に何かできないかを検討していきたい。

議案 3 及び 4 について、表決をとったところ全員異議なく承認された。

○各委員より取り組み状況について情報提供を受けた。

資料 5 のとおり、各委員より資料について説明いただいた。

- ・大阪観光局
- ・大阪府ラグビーフットボール協会
- ・関西経済連合会

(委員長)

- ・先のご説明のとおり、ワールドマスターズゲームズ 2021 においても、昨日議連が発足された。まずは、ゴールデンイヤーズのキックオフがラグビーワールドカップにあたる。ワールドマスターズゲームズも東大阪市が参加されており、これに続くように機運を高めていきたい。

(副委員長)

- ・いよいよラグビーワールドカップの本番の年となる。多方面に渡りましてご支援、また、さらなる様々なご協力をお願いしているが、引き続きお願いしたい。

何点か、お願い。

2019 年の事業計画のとおり、8 月 3 日に大会本番を想定したテストマッチとして、花園ラグビー場において、日本代表対トンガ代表戦が行われる。現時点では、チケット販売や試合時間は未定だが、おそらく時期的にナイトゲームとなるかと思う。ワールドカップを前にした最後の試合となることから、協力をお願いしたい。

過去には、10 月 26 日の世界選抜戦や改修前のウェールズ戦を行っており、高校ラグビーの際や、ゆるキャラグランプリ等では、2 日間で 4 万 8 千人が花園ラグビー場にお越しいただいた。近鉄様のご配慮により、東花園駅に快速急行を停めていただいた。

また、普段止まらない駅に電車が停まるということで、電車の好きな方が乗りに来られた。ラグビーワールドカップを契機に、直接ラグビーに興味を持った方だけでなく、いろんな夢や経済活動を活性化させる機会になると思う。

東大阪市は、京都の一澤帆布と聖地花園のコラボレーションでバックを作成し、イベント等では即日完売している。様々な方面で、花園やラグビーの利用ができると考える。この間、花園で試合を行う国の大使館、総領事、ラグビーに関心を持たれている方々と話しをしてきており、とても注目度が高いと感じている。東大阪市としては、我々だけで取り込もうと考えている訳ではなく、これを通じて大阪、関西の活性化につながればと思っている。ラグビーワールドカップやワールドマスターズゲームズを通じて、大阪、関西の一つのエネルギーを生み出す資源となればと思っている。また、ラグビーだけでなく、幅広い取り組みを行っていければと思っている。

先日、**JR** おおさか東線が全面開通し、新大阪から近鉄に乗り換えるだけで、東花園駅に着き、花園ラグビー場まで行くことができる。新しいルートができ、こういった事がレガシーの一つだと思っている。

大会成功に向けて、タックスクラムを組んでいきたい。

---

また、本日、代理出席を含め定数18名のうち13名の委員に出席いただき、規約第9条第3項の定足数を満たしていることから、会議が有効に成立した。

以上をもって全議案の審議、報告を終了した。